

心の世話

校長 鶴巻 一郎

市 立浦和（市高・浦中）の特色を説明する時には、私は次の三つを挙げます。中高一貫教育を実施しその充実を図っていること、高い次元での文武両道を目指していること、そして国際交流を多彩に行ってグローバルな人材育成に努めていること、という三つです。

本校の中高一貫は今年で九年目を迎えますが、平成二十六年度には、浦中の三期生を含んだ学年が市高を卒業し、難関と言われる大学にも多くの合格者が出るなど、すばらしい成果をあげました。これは、中学校からの内

部進学生と高校からの入学生の両方が、切磋琢磨し健闘した成果です。

また昨年度も、多くの部活動が全国大会や関東大会に出場するなど、目覚ましい実績を残していますが、文武両道をしっかりと意識しているのが、さらにすばらしいところです。

本校には、高校二年生での海外修学旅行をはじめとして実に様々な国際交流のチャンスがあります。海外の姉妹校との相互訪問交流もありますし、留学する生徒も毎年います。こうしたすばらしい特色は、生徒の努力とともに、保護者の皆様をはじめとする多くの方のご理解・ご協力に支えられています。生徒諸君には、感謝の気持ちを持ってさらに励んでいただきたいと思います。

これと関係して考えてみてもらいたいのが、自分の心の世話ということですね。学校の勉強も含めて、広く教養を身に付けることは当然心の世話にあたりますし、部活動や行事などの中で多くの人と体験を共有しながら学ぶことも、たくさんあります。世界に目が開かれ広い視野で考え行動できるようにすることも大切です。これらすべてが心の世話であり、自分の成長につながっているのです。



第151号

平成27年7月15日
さいたま市立浦和
高等学校・中学校PTA
広報委員会発行

Municipal Urawa a PTA News Letter.

着任のひめろっぴ

このたび四月一日付で着任しました谷ヶ崎と申します。どうぞよろしくお願いたします。

市立浦和は勉強面と部活動面の両方を頑張っている素晴らしい学校だと思います。各部活動の活躍や進路実績は輝かしいものがあります。また、文化祭や体育祭などの学校行事にも一生懸命な学校だと聞いていて、今から楽しみにしています。生徒にとっては、一度しかない中学・高校生活をこの市立浦和で送れることはとても有意義であり、人間的に大きく成長できるものと思っています。さらに市立浦和には先輩方が築いてこられた伝統と歴史があります。

私も「チーム市立浦和」の一員として、この素晴らしい市立浦和の生徒や学校のために精一杯頑張っていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いたします。



教頭 谷ヶ崎 覚